

『上海聲音字彙』(1935)における入声韻のローマ字表記と音声
The Roman Alphabet Notation and Sound Study on
Checked Tone Phonetics in *Shanghai Seion Jii* (1935)

任 菲

REN Fei

要旨:

本文對稻葉鼎一郎所編『上海聲音字彙』(1935)中入聲韻所收漢字的羅馬字注音進行研究。近代日本人所著多種上海話教科書中罕見關注入聲韻語音狀況,『上海聲音字彙』頗具學術價值。全文從聲母韻母兩方面入手,在整理分析音節字表的基礎上將字音與許寶華《上海市區方言志》(1988)中“同音字表”作系統比較,並應用法國傳教士蒲君南《法華新詞典》(1950)中的羅馬字記音進行輔證。結論歸納出『上海聲音字彙』入聲韻中具有聲母26個、反映了20世紀30年代上海話聲母的語音狀況。目前考察的入聲韻母主要基於與“同音字表”的對應比較,詳細結論尚待後續研究。

キーワード: 上海語、入聲韻、ローマ字表記、音声、『上海聲音字彙』

目次

1. 『上海聲音字彙』について
2. 入聲韻のローマ字表記
3. 声母の音声研究
4. 韻母の音声研究
- 4.1 単韻母
- 4.2 複合韻母
5. まとめ

主要参考文献

付録1: 『上海聲音字彙』入聲韻声母韻母配合表

付録2: 『上海聲音字彙』入聲韻ローマ字表記字表(同音字表国際音記併記)

1. 『上海聲音字彙』について

『上海聲音字彙』は稲葉鼎一郎によって編纂され、昭和十年（1935）に日本堂により出版された上海語の発音教科書である。全書は二部分からなり、『上海聲音字彙』の110ページと『燕滬聲音比較篇』の51ページにより構成した。第一部分の『上海聲音字彙』にローマ字表記と仮名表記ともあるが、ローマ字表記のアルファベット順によって、音節別で漢字を収録し、音節毎に声調別で漢字を排列した。上海語には五つの声調があり、稲葉鼎一郎がそれぞれ数字に対応し、1「上平」、2「下平」、3「上聲」、4「去聲」、5「入聲」となる。上海語発音の表記について、稲葉鼎一郎は以下のように説明した：

本書の発音は『支那聲音字彙』（岡本正文先生編、Wade式）の記法に准據した。併し特異の発音が多く Wade の記法以外に私自分勝手に創作したものもある。以下主要なものを記述する。1. B は p と b との中間音で軽く濁る。2. ě は 0 の口構、eh と発音し且口腔を少し震動させたもの。3. J は捲舌音で無く普通に発音したもの。4. NGA 行は喉から鼻の奥の方へ振動させたもの。5. Z は Sz と音尾を軽く濁る。6. a, ê, ô, u の区別は私の耳に殆ど判然しない。故に特に明瞭なもの、習慣上特に斯く発音され或は書かれるものを除き、大部分を 0 の項に入れた。7. 語尾の n と ng との区別は上海語に無いから総て n の項に入れた。

『上海聲音字彙』には計 303 個の上海語音節を記録し、約 4000 字を収録した。その中に“文読”と“白話”の字、或は多音字も収録した。収録した字は「王廷珩先生の口述を其発音通りに編輯したもの」である。稲葉鼎一郎の紹介によると、「王廷珩先生は蘇州の名家、在滬三十餘年、三井洋行に勤務の傍ら、各學校會社に多年上海語を教授され、在滬邦人は殆どが其の生徒である。（中略）此先生の聲音は上海語の標準として最も適切なものと推選する。」ということが分かる。

本稿は『上海聲音字彙』に収録した入声韻の同音字を字表に整理し、ローマ字表記による音声研究を行う上、声母・韻母の体系を解明する。

2. 入声韻のローマ字表記

『上海聲音字彙』に収録した入声字、即ち各音節の「5」に属する字は計 1017 個ある。その中に 23 字¹が上海語の中、入声として使用しないが、続けて検討したい。本稿は『上海聲音字彙』のローマ字表記と上海語の発音を比較するため、許寶華²（1988）が主編した《上海市区方言志》第三章の“同音字表”（第 78—108 頁、以下“同音字表”と略称）を主に参考し、フランス宣教師 Albert Bourgeois, S.J.（中国名：蒲君南、或いは布尔其瓦³、？—

¹ 「𪛗祛祛度駁磳墓溺拗怕閃太汰磊都厠怎冢柘曙乍祚詐」これら 23 字の発音を付録 2 に参照される。

² 許寶華は 1933 年中国の江蘇省南通市に生まれ、復旦大学中国語言文学専攻で 1956 年に卒業した。言語学研究、特に上海語を中心にした方言研究の専門家である。

³ フランス宣教師蒲君南は上海語の専門家であり、上海呂班路の震旦博物院院長を担当したことがある。主要な著作は《上海方言課本》（1939）、《上海方言語法》（1941）、《法華新字典》（1950）であり、

1948)が編纂した《法華新字典》(1950)のローマ字表記を補充として参考した。許氏が整理した“同音字表”は“中派上海方言音系”⁴によって収録され、入声字数は『上海聲音字彙』の倍にある。《法華新字典》(1950)の正文はフランス単語の順で編纂され、単語の後に上海語の訳やそれと関連性のある連語や類語が収録し、上海語の学習に非常に便利である。正文の前に、同音字音節表があり、収録した字数が多くないが成書時代が『上海聲音字彙』に近いので、参考価値が大きい。

資料整理によると、『上海聲音字彙』の1017個入声字の中に、272字⁵が“同音字表”に収録されていない。それらの字音は今後の研究で確認したい。そして、『上海聲音字彙』に収録した入声音節が107個あり、“同音字表”に入声音節が115個あり、《法華新字典》(1950)の音節表に入声音節が190個ある。《法華新字典》のフランス式表記に筆者が研究により転換した国際音記を併記する。

『上海聲音字彙』は音節表(番号付き)の下に声調別で上海語字音を収録したため、入声字に独自のローマ字表記がない。編纂者が「入声変化表」を作成し、表に17個の音節でまとめたが、実際に凡て23個になる。内訳は：①CHIがCHIEに、CH'ĪがCH'IEに、DIがDIEに、HIがHIEに、HSIがHSIEに、TS'ĪがTS'IEに、IがYEに、LIがLIEに、MIがMIEに、NIがNIEに、PIがPIEに、TIがTIEに、T'ĪがT'IEに；②CHŪがCHŪOに、CH'ŪがCH'ŪOに、JŪがJŪOに、HSŪがHSŪOに；③HIOがHIAに；④HUがHUAに；⑤NIEがNIAに；⑥TSEがTSÊに、TS'EがTS'Êに；⑦TSIがTSEに、ZIがZEになる。

『上海聲音字彙』に収録した入声音節が107個あり、声母のローマ字表記がB、CH、CH'、D、F、H、HS、J、K、K'、L、M、N、NG、P、P'、S、T、T'、TS、TS'、V、W、Y、Zの25個あり、入声韻母のローマ字表記がA、Ê、E、I、IE、IA、O、U、UA、UE、UO、ŪO、ÛE、ËU、YOの15⁶個ある。“同音字表”に入声音節が115個あり、声母が[p]、[p']、[b]、[m]、[f]、[v]、[t]、[t']、[d]、[n]、[l]、[ts]、[ts']、[s]、[z]、[tɕ]、[tɕ']、[dz]、[ŋ]、[ɕ]、[z]、[k]、[k']、[g]、[ŋ]、[h]、[ɦ]の27個あり、入声韻母が[Aʔ]、[iAʔ]、[uAʔ]、[oʔ]、[ioʔ]、[əʔ]、[uəʔ]、[iɪʔ]、[yɪʔ]の9個ある。以下は声母の音声、韻母の音声进行分析し音声体系を整理する。

全て上海土山灣印刷所により出版され、使用した音声記号は同じフランス式表記で、評価が高い著作である。《法華新字典》(1950)は西洋宣教師が上海で編纂した最後の上海語著作であり、出版時に原作者の蒲君南が既に亡くなった。

⁴ 許寶華(1997:引論4)の説明によると、「中派上海方言音系」は1940年前後から1965年前後の間に出生した上海市民が使用する方言音である。

⁵ これら272字が付録2に横線で表示した。

⁶ ローマ字OUと組み合わせて、入声音節になるのは「T'OU都」のみ。しかし、都[tu]は入声字ではないため、総数から除外した。

3. 声母の音声研究

全体的に見ると過半数の声母は一对一の対応となり、P[p]、P'[p']、B[b]、M[m]、F[f]、V[v]；T[t]、T'[t']、D[d]、L[l]；S[s]；CH[ts]、CH'[tɕ]、J[dz]；K[k]、K'[k']、H[h]の17母となる。他の声母はそれぞれの対応状況があり、以下具体的に検討する。

(1) NG は [g]、[ŋ] 二声母の発音を表記する

上海語に[g]、[ŋ]の二声母が存在する。『上海聲音字彙』にNGを声母とする音節は三個あり、[g]声母字は「NGA : gA?軋」、「NGE : gə?穉」、「NGO : gə?个个箇」の5字あり、[ŋ]声母字は「NGA : ŋA?額 ŋə?確 (鶴)」、「NGE : ŋə?兀厄扼扼」、「NGO : ŋə?岳嶽愕愕鄂鵝雀鶴」の13字となる。『上海聲音字彙』に[g][ŋ]二つの発音を表記するのが日本語の「が行」音と同じような対応関係を有し、日本人の稲葉氏が日本語の音韻理解に基づいて設定した可能性があり、興味深いことである。上海語の[g]は音韻上「群母」由来で、[ŋ]は「疑母」の由来である。

(2) N で始まる音節は [n] [ŋ] 二声母の発音を表記する

『上海聲音字彙』にNで始まる音節は5個あり、「NA : nA?呐納納」音節は[n]を読み、「NI (NIE) : ni?日匿逆」、「NIE (NIA) : niA?捏虐 ni?熱藥孽聶躡鑷業齧」、「NÜE : nyi?月」、「NYO : ŋio?玉肉褥 ŋio 溺」の場合は[ŋ]を読む。舌面鼻音子音[ŋ]は[n]から歴史変化を経て形成したものであり、[i] [y] など狭母音が変化の条件であった。日本語に「に、にゅ、にゃ、によ」など音節は後ろにiがあるため、[n]はよく[ŋ]に発音される。『上海聲音字彙』は同様な表記法で二声母の発音を処置した。

(3) H は [h]、[ɦ] 二声母の発音を表記する

[h]、[ɦ]二声母は無気音・有気音の関係で、音韻上「曉母」と「匣母」と分類され、上海語は両方とも存在する。『上海聲音字彙』は異なる表記をせず、Hで両方の表記をした。関連音節に[h]の発音は「HA : hA?嚇瞎 hə?赫」、「HE : hə?黑」、「HO : ho?霍壑 hə?喝」、「HU (HUA) : ho?忽」、「HUA : huA?豁 hA?轄」の10字となり、[ɦ]の発音は「HA : ɦA?盒 ɦə?合 ɦE 駭」の3字となる。2発音の差は微妙に違い、区別が容易にできないのが混同した理由かもしれない。

(4) A・ê・i・o・y など母音で始まる音節は [ɦ]、ゼロ声母が混在する

上海語に分類される[ɦ]とゼロ声母は音韻の歴史分類でそれぞれ「匣母」「喻母」と「影母」に分類し、歴史伝承の由来がある。「匣母」は本来[ɦ]と発音し、「喻母」は半母音[j]で発音したが上海語は独自の変化で[ɦ]になり、「匣母」に合流した。

『上海聲音字彙』に母音「A・Ê・I・O」で始まる音節に声母対応は二種類になる。[h]は「A : hA?匣盒狭 hA?合」、「Ê:曷揭闔⁷」、「I (YE) : hii?弋佚軼亦繹譯曳易奕液逸」、「O : ho?學斛鑊」となる。ゼロ声母は「A : A?阿押鴨壓」、「I (YE) : ii?一乙抑揖益溢縊邑」、「O : o?屋幄握渥醜惡沃」となる。また、Yで始まる音節に[h]声母が「YE : hii?叶掖掖葉頁 hiiA?俠挾 hiiA?狎」、「YA : hiiA?俠挾 hiiA?狎」、「ho?學」、「hio?欲慾浴育獄鬪」、「YÜE : hii?域役疫悅閱月穴粵越鉞」など28字があり、同時にゼロ声母も「YE : ii?協謁」、「YA : iA?約葯藥學洽躍鑰」、「iA?樂」、「io?郁」、「YÜE : yi?鬱」など12字がある。以上、『上海聲音字彙』の同音節内に[h]声母字とゼロ声母字が混在する状況から編纂者稲葉氏は両声母の区分をしていないと言える。

Wで始まる音節に「WA : hua?割滑猾 hua?活獲獲 ho?或惑」、「WO : hua?穫」、「WA : hua?割滑猾 hua?活獲獲 ho?或惑」、「WO : hua?穫」など音節があり、声母は凡て[h]となり、Wが[h]と対応する。

(5) 「尖音」「団音」がまだ合流していない

Hの後ろにA・E・O・Uなどの母音がある時、[h]や[h]の発音をするが、H (I) の場合、[e]を読む。用例として、「HI (HIE) : eii?吸歛隙」、「HIE : eii?歇蝎蠍脇」、「HIO (HIA) : eyi?旭畜蓄」、すべて音韻学でいう「曉母」字となる。また、HS (I) の場合も「同音字表」によると[e]を読む。用例は「HSI (HSIE) : eii?息媳熄悉蟋昔惜析浙晰膝戌錫 eyi?恤」、「HSIE : eii?泄屑戌薛襲雪」、「HSIA : eiiA?削」などとなる。また「HSÜE : eyi?血」のように、HSÜは[ey]と読む。これらの漢字は全部音韻学でいう「心母」字となる。

以上の「曉母」「心母」に関わる音韻問題は「尖団不分」、「尖団合流」と言われ、古代の[s]と[h]は[i]や[y]の後続母音の影響を受け、前後にして舌面母音[e]に変化した現象である。しかし、『上海聲音字彙』にH (I) とHS (I) で2種類に区別したため、同音関係は認められない。一般的な変化過程「先尖後団」から判断すると、『上海聲音字彙』におけるH (I) は[e]に変化した、HS (I) は依然として[s]のままである。

「尖音」は「精清從心邪」五声母の[i]や[y]韻母字、「団音」は「見溪群曉匣」五声母の[i]や[y]韻母字となる。『上海聲音字彙』にほかの「尖音」字は以下となる。

「TSE(TSE):teii?即唧脚漬積績脊瘠鶴稷迹」、「TSIE : teii?接節」、「TS'I (TS'IE) : te'ii?七緝輯漆戚」、「TS'IE : te'ii?切窃竊」、「TSIA : teiA?爵」、「ZI(ZE):zii?夕疾寂席蓆集籍緝」、「ZIA : ziiA?嚼」、「ZIE : zii?捷睫絶籍截」の全字数に[te]・[te']・[z]の三声母は[ts]・[ts']・[z]に推定できる。

一方、『上海聲音字彙』におけるほかの「団音」字は以下となる。「CHI(CHIE) : teii?吉結汲級激急擊戟棘給鬚 dzii?及笈」、「CHIE : teii?子劫拮結潔揭莢類 te'yi?却 dzii?桀」、

⁷ Êで始まる音節はÊだけで、「曷揭闔」の三字が所収する。いずれも匣母字のため[h]の声母と認める。

「CH'1(CH'IE):te'ir?乞吃訖迄喫泣 te'y 祛」、「CH'IE:te'ir?祛」、「CHIA:teiA?甲腳」、「CH'IA:te'ia?却雀」、「CHÛ (CHÛO) : teio?橘掬菊鞠覺瑛」、「CH'Û (CH'ÛO) : te'io?屈曲」、「CHÛE : tcyir?厥蕨厥決決訣 dzzir?崛」、「CH'ÛE : te'yr?缺闕」、「JIE : dzir?傑劇極竭」、「JÛ (JÛO) : dzio?局軸」の全字数⁸の [tɕ]・[tɕ']・[dz] 三声母の分類は“同音字表”の通りとなる。

以上の検討分析を総括し、ローマ字表記との対照でまとめると、『上海聲音字彙』に P[p]、P'[p']、B[b]、M[m]、F[f]、V[v];T[t]、T'[t']、D[d]、N[n]、N(l)[ŋ]、L[l];TS[ts]、TS'[ts']、S/HS (l) [s]、Z[z];CH[tɕ]、CH'[tɕ']、H(l)[ɕ]、J[dz]; K[k]、K'[k']、NG[g]、NG[ŋ]、H[h]、H (一部) /Y/W[ɦ]の 26 個となり、“同音字表”の声母[p]、[p']、[b]、[m]、[f]、[v]、[t]、[t']、[d]、[n]、[l]、[ts]、[ts']、[s]、[z]、[tɕ]、[tɕ']、[dz]、[ŋ]、[ɕ]、[z]、[k]、[k']、[g]、[ŋ]、[h]、[ɦ]27 個に較べると、一個少なく、[z]はまだ形成していない。これは「尖团合流」により、Z[z]と [i] [y] で始まる韻母と結合した音節により生成した声母であり、上海語の中、最も新し声母と言える。錢乃榮 (2014 : 66) によると、「精組字」(尖音)の [ts]、[ts']は 1962 年以降から、一部が「見係字」(团音)の [ɕ]に合併したとの見解を示し、参考に値する。

『上海聲音字彙』と“同音字表”にはともにゼロ声母があり、声母数に加えていないが、『上海聲音字彙』には母音で始まる音節や y で始まる音節に現れている。

『上海聲音字彙』に[n]、[ŋ]両声母がともに N で表記され、[g]、[ŋ]両声母がともに NG で表記される状況から稲葉氏がそれぞれ区別していないことの原因究明が必要であり、[ɦ]声母とゼロ声母の表記混同、[h]声母と[ɦ]声母の表記混同と一緒に関連しているため、今後の研究課題としたい。

4. 韻母の音声研究

『上海聲音字彙』入声韻母のローマ字表記が A、Ê、E、I、IE、IA、O、U、UA、UE、UO、ÛO、ÛE、ÛU、YO の 15 個に対して、“同音字表”入声韻母が[Aʔ]、[iAʔ]、[uAʔ]、[oʔ]、[ioʔ]、[əʔ]、[uəʔ]、[iiʔ]、[yiʔ]の 9 個ある。以下具体的に検討する

4.1 単韻母

単韻母は A、Ê、E、I、O、U の 6 個となる。

(1) A は [Aʔ]と一致する

『上海聲音字彙』の A 韻母は基本的に“同音字表”の[Aʔ]と一致する。「A[Aʔ]阿押鴨壓、ɦAʔ匣盒狹」、「BA[baʔ]白帛拔跋」、「DA[daʔ]踏達、tAʔ沓」、「FA[faʔ]法珞發髮」、「HA[haʔ]嚇瞎[ɦAʔ]盒」、「KA[kaʔ]格夾」、「K'A[k'Aʔ]客恰」、「LA[lAʔ]刺腊臘」、「MA[maʔ]袜襪麥陌脈」、「NA[nAʔ]呐納衲」、「PA[pAʔ]八伯柏百」、「NGA : ŋAʔ額 gAʔ軋」、「PA : pAʔ八伯柏百

⁸ 以上の音節に「及笈」、「却、桀」、「祛」、「崛」など声母相違の六字が誤収した。

栢]、p'ʌʔ栢迫 bʌʔ白拔跋]、「P'ʌ [p'ʌʔ]拍珀魄]、「SA[sʌʔ]柵殺煞薩霎]、「TA[tʌʔ]搭搭]、
「T'ʌ[t'ʌʔ]塔塌榻榻]、「TSA[tsʌʔ]勺灼灼啞扎紮札隻着著窄]、「TS'ʌ[ts'ʌʔ]册尺拆插察擦
策赤]、「VA[vʌʔ]乏伐筏閥罰]、「ZA[zʌʔ]雜宅弱石芍若罔」などとなる。

本韻母は一部“同音字表”にある [əʔ] 韻母字も混在している。以下である。「A : fiəʔ
合]、「BA : bəʔ勃渤]、「FA : fəʔ佛]、「HA : fiəʔ合 həʔ赫 fiE 駭]、「KA : kəʔ合 鶴割膈革]、
「K'ʌ : k'əʔ克刻咳渴]、「LA : ləʔ勒肋捋]、「MA : məʔ末抹茉歿沒]、「PA : pəʔ撥鉢 bəʔ
滂]、「P'ʌ : p'əʔ滂]、「SA : səʔ説]、「TA : təʔ得德掇]、「T'ʌ : t'əʔ忒脱脱]「TSA : tsəʔ則側
仄只責噴拙折浙摺質]、「TS'ʌ : ts'əʔ側測撒 (撒) 澈徹]、「VA : vəʔ勿]、「ZA : zəʔ直擇澤
となる。これらの同音字は以下の Ê、E 韻母にも関係する。

《法華新字典》に AH ([aʔ]) で本韻母の字を表記し、以下は関連の同音字となる。

「pah[paʔ] : pʌʔ栢百嘯叭、p'ah[p'aʔ] : p'ʌʔ泊 bah[baʔ] : bʌʔ白帛跋、mah[maʔ] : mʌʔ陌麥、
lah[laʔ] : lʌʔ刺、tsah[tsaʔ] : tsʌʔ隻勺酌灼着墟拓 ts'ʌʔ坼、ts'ah[ts'aʔ] : ts'ʌʔ册拆尺赤綽
saʔ利、sah[saʔ] : sʌʔ柵漸、zah[zaʔ] : zʌʔ弱石芍若宅坵箸 甌燴、kah[kaʔ] : kʌʔ格隔、
k'ah[k'aʔ] : k'ʌʔ客、ngah[ŋaʔ] : ŋʌʔ額、hah[haʔ] : hʌʔ嚇]、[əʔ]の対応は「tsah[tsaʔ] : tsəʔ
責噴仄摘、zah[zaʔ] : zəʔ擲、kah[kaʔ] : kəʔ囁」となる。

(2) Ê、E、U は [əʔ] と一致する

『上海聲音字彙』の Ê、E 両韻母は基本的に“同音字表”の半広母音韻母 [əʔ] と一致する。
例えば、「DÊ [dəʔ]奪特突]、「FÊ [vəʔ]勿]、「HE [həʔ]黑]、「KE [kəʔ]葛]、「LÊ [ləʔ]勒]、「NGE [ŋəʔ]
兀厄扼扼]、「PÊ [pəʔ]鉢]、「SÊ [səʔ]刷室塞失式拭率蟀澁濕虱色畜穠識設釋適飾 zəʔ十拾]、
「TSE(TSÊ) : [tsəʔ]側卒哲折摘 ts'əʔ掣]、「TS'E(TS'Ê) : [ts'əʔ] 出撮黜]、「TSE [tsəʔ] 只汁
窒姪織職褶執]、「ZÊ [zəʔ]入折擇擲涉術術述舌蝥賊]、「ZI(ZE) : [zəʔ]十什拾直值殖姪秩寔實
日躑食蝕」などとなる。『上海聲音字彙』に Ê と組み合わせる声母が E と組み合わせない
が、声母ローマ字 TS、TS'、Z だけは両方とも組み合わせる。両者は発音において特に区
別がない。『上海聲音字彙』のローマ字表記 E と Ê は違う表音性が無いように見受ける。

TSÊ、ZÊ の場合は [əʔ] と一致するが、TSE の中には [tsʌʔ] 炙 [tseiʔ] 即啣鯽漬積積脊が混入
し、ZE の中には [zʌʔ] 石 [ziʔ] 夕疾寂席蓆集籍襲が混入した。そして、SÊ には [sʌʔ] 颯の一例
が混入した。

U 韻母の音声数が少ない、「FU : vəʔ弗]、「PU : pəʔ不]、「HU (HUA) : hoʔ忽]「KU : gəʔ
个箇箇」となり、殆ど [əʔ] 韻母字となる。

《法華新字典》に EH ([ʌʔ]) 韻母と ÊH ([eʔ]) で Ê、E 韻を表記した。EH の用例は「peh[pʌʔ] :
槩、beh[bʌʔ] : p'ʌʔ舶、meh[mʌʔ] : məʔ墨默、teh[tʌʔ] : təʔ得德輶、t'eh[t'ʌʔ] : t'əʔ忒脱忒脱
稅、deh[dʌʔ] : dəʔ特騰、leh[lʌʔ] : ləʔ勒肋、tseh[tsʌʔ] : tsəʔ只織職則譚噉 ts'əʔ側側、ts'eh[ts'ʌʔ] :
ts'əʔ斥筋猝筴、seh[sʌʔ] : səʔ瑟色室式飾識説塞摺蓄杖、zeh[zʌʔ] : zəʔ擇澤殖值直植食蝕賊賊、
keh[kʌʔ] : 蚌鬩鬩、k'eh[k'aʔ] : k'əʔ克刻、ngeh[ŋʌʔ] : ŋəʔ厄戾阨、heh[hʌʔ] : fiəʔ頰關謁曷謁
呶、h'eh[hʌʔ] : həʔ喝赫黑」となる。ÊH の用例は péh[peʔ] : pəʔ撥不鉢鉢、p'éh[p'eʔ] : p'əʔ

潑、béh[beʔ] : bəʔ勃孛、méh[meʔ] : məʔ嘿默末茉⁹歿沒物抹秣貉、féh[feʔ] : 佛佛豁馱 vəʔ弗、véh[veʔ] : vəʔ勿、déh[deʔ] : dəʔ叠凸突選沓疊、néh[neʔ] : nəʔ納衲、tséh[tseʔ] : tsəʔ執折卒拙哲
 蜇哲徹陟啜掇粹咄 tsAʔ扎啞、ts'éh[ts'eʔ] : tsəʔ萃 ts'oʔ輟、séh[seʔ] : səʔ攝失濕刷刷率蟀蟀捧
 粹掇稜、zéh[zeʔ] : zəʔ秩姪蜇入涉舌什實十術述搦燕 zAʔ雜、kéh[keʔ] : kəʔ鶻鶻哈 kAʔ鶻、k'
 éh[k'eʔ] : k'əʔ瞠瞠悞、ngéh[ŋeʔ] : ŋəʔ兀岫岫、héh[heʔ] : həʔ合盍齧紇)となる。また、EUH[øʔ]
 の用例「p'eu[h[p'øʔ] : p'Aʔ迫 teu[h[tøʔ] : təʔ掇 1deuh[døʔ] : dəʔ奪 leuh[løʔ] : ləʔ埒 tseuh[tsøʔ] :
 擻 ts'eu[h[ts'øʔ] : ts'əʔ撮 seuh[søʔ] : 擻帥 keuh[køʔ] : kəʔ割葛 k'eu[h[k'øʔ] : k'əʔ渴 も同じ対
 応している。

(3) I と IE はともに [iɪʔ] と一致する

『上海聲音字彙』韻母 I の組み合わせる声母は P'[p']のみであり、「[p'iiʔ]辟僻譬譬癖癖
 霹匹匹」となる。I 韻母の発音は IE に近いので、編纂者の稲葉氏は「入声変化表」で複
 数の「I が IE」類型の発音変化を説明した。以下は関連する音節の所収字である。
 CHI(CHIE) : 「teiiʔ吉劫汲級激急戟棘給髻 dziiʔ及笈」、CH'IE(CH'IE) : 「te'iiʔ乞吃訖迄喫
 泣」、DI(DIE) : 「diiʔ笛迪滌狄狄敵」、HI (HIE) : 「eiiʔ吸歛隙」、HSI (HSIE) : 「eiiʔ息媳熄
 悉蟋昔惜析浙晰膝戌錫 ziiʔ習」、I (YE) : 「iiʔ一乙抑揖益溢縊邑 fiiʔ弋佚軼亦繹譯曳易弈奕
 翼逸」、LI (LIE) : 「liiʔ力律栗慄歷歷歷曆立笠粒礫」、MI (MIE) : 「miiʔ密蜜」、NI
 (NIE) : 「niiʔ日匿逆」、PI (PIE) : 「piiʔ必必泌畢譬壁璧」、TI (TIE) : 「tiiʔ的嫡滴鐫」、T'I
 (T'IE) : 「t'iiʔ剔踢」、TSI(TSE) : 「tsəʔ只汁窒蛭織職褶執 teiiʔ即唧唧漬積緝脊瘠鶴稷述」、
 TS'IE (TS'IE) : 「ts'iiʔ七緝輯漆戚 ts'əʔ勅叱斥飭」。その中、TSI(TSE) : 「tsəʔ只汁窒蛭織職
 褶執」、TS'IE (TS'IE) : 「ts'əʔ勅叱斥飭」二音節の 12 字は“同音字表”の[əʔ]韻母対応する以
 外に、全て“同音字表”の[iɪʔ]韻母に対応する。「I が IE に」類型の韻母は[iɪʔ]となり、単純
 な [iʔ]或いは[ieʔ]ではない。

また『上海聲音字彙』に複数 IE 類韻母があり、同音字は以下となる。BIE : 「biiʔ鼻枇
 弼」、CHIE : 「teiiʔ子劫劫結潔揭莢類 dziiʔ桀」、CH'IE : 「te'iiʔ怯」、DIE : 「dəʔ凸 diiʔ牒碟
 蝶蹀疊迭」、HIE : 「eiiʔ歇蝎蠍脇」、HSIE : 「eiiʔ泄屑戌薛襲雪」、YE : 「iiʔ協協 fiiʔ叶掖腋
 葉頁」、JIE : 「dziiʔ傑劇極竭」、LIE : 「liiʔ列冽烈裂劣」、MIE : 「miiʔ滅篋蔑」、PIE : 「piiʔ牒
 篋 biiʔ別」、P'IE : 「p'iiʔ撇瞥」、TIE : 「tiiʔ跌」、T'IE : 「t'iiʔ帖貼鐵」、TSIE : 「tsiiʔ接節」、
 TS'IE : 「ts'iiʔ切窃竊」、ZIE : 「ziiʔ捷睫絕籍截」。以上の音節字に「DIE : dəʔ凸」一字を除
 き、やはり全部 [iɪʔ]韻母に対応する。

以上の「I が IE に」韻母と「IE」韻母、そして前述した単独の [I] 韻母は一律“同音字
 表”の [iɪʔ]韻母に密接な対応関係にあり、I 韻母はやはり [iɪʔ]ではなく、IE に変化され、
 [iɪʔ]と発音し、つまり、IE 韻母は [iɪʔ]の発音という結論となる。

⁹ 原書に「茉」は「菜」に誤記した。

以上の結論から言うと、一つしかない P'I 音節も本来は「I が IE に」に分類されるはずで、ミスで「P'I が P'IE に」が「入声変化表」から漏れたという解釈となる。また、もう一個「入声変化表」に関連する音節「NIE (NIA) : ŋiA?捏虐 ŋi?熱藥孽聶聶業齧」が存在し、NIE (NIA) は NIE («ŋi?熱藥孽聶聶業齧») と NIA («ŋiA?捏虐») の両音節は含むと考えられる。

《法華新字典》に IEH ([iA?])、GHEH ([dʒiA?])、GNEH ([ŋiA?])、YEH ([fiA?]) で対応する。「pieh[piA?]: pi?筆辟譬、p'ieh[p'ia?]: p'ii?匹疋辟、bieh[biA?]: bi?鼻弼髀、tieh[tiA?]: ti?嫡的摘、t'ieh[t'ia?]: t'ii?剔惕 ti?撻、dieh[diA?]: di?迪笛 tsə?褶、tsieh[tsiA?]: tsei?勛績積 漬 sieh[siA?]: sei?悉昔襲 sy?郵恤、zieh[ziA?]: zi?夕席疾嫉、kieh[keiA?]: tsei?汲亟、kieh[keiA?]: tsei?撤、k'ieh[k'eia?]: te'ii?乞迄乞吃喫、gheh[dʒiA?]: 劬、ghieh[dʒiA?]: dʒii?極、gneh[ŋiA?]: ŋii?逆匿溺尼、yeh[fiA?]: fi?亦易腋掖覈駝阨 ii?益」となる。また、IÉH ([ie?])、「GHÉH[dzie?])、「GNÉH[ŋie?])、「YÉH[fiie?]) など音節も対応する。「p'ieh[pie?]: p'ii?撤警、biéh[bie?]: bi?別、miéh[mie?]: mi?穢滅、diéh[die?]: di?牒碟撲覲、liéh[lie?]: li?劣 IA?獵、ziéh[zie?]: zi?絶、kiéh[keie?]: tsei?吉給潔劫莢戛戛 zi?映、ei?卻隙、'kiéh[keie?]: zi?睫、k'ieh[k'eie?]: te'ii?怯契挈慊、ghéh[dzie?]: 蠓、ghieh[dzie?]: dʒii?及傑杰、gnéh[ŋie?]: ŋii?熱日嚙臬讖 zə?拾、hiéh[sie?]: si?歇歛吸閎脗舂 tsi?揭、fi?軼 si?臭、yéh[fiie?]: fi?頁韻協叶葉曳 ii?謁噎」となる。また、「IH/YH ([i?]) も対応し、「pih[pi?]: pi?畢必鼈蟹 bih[bi?]: bi?枇蹙 tih[ti?]: ti?跌貼 t'ih[t'i?]: t'ii?踢帖貼 lih[li?]: li?力曆列裂捩律率厲 ɹgnih[ŋi?]: ii?屹 tsih[tsi?]: tsei?跡蹟節接 ts'ih[ts'i?]: te'ii?七柒 sih[si?]: sei?息泄雪戍燮契 ɹzih[zi?]: zi?集蒺截捷習襲旋 ɹkih[kei?]: 詰愨 hih[ei?]: sei?歛翁 ih[i?]: ii?乙壹饒 yh[i?]: ii?噎」となる。

当韻母“同音字表”の [i?] に一個の韻母に対して『上海聲音字彙』と《法華新字典》はともに複数のローマ字韻母で対応しており、複雑なかかわりになっている。現代上海語の [i?] 韻母は近代から複数の韻母が合流して形成したものの可能性が高く、更に『上海聲音字彙』《法華新字典》両書のローマ字韻母の同音字構成を詳しく分析し、その源流を探求する必要がある。

(4) O と EU は [o?] に対応する

『上海聲音字彙』の O 韻母は“同音字表”の [o?] 韻母に対応し、用例は以下となる。

「BO : bo?僕薄菔箔 p'o?璞」、「DO:do?毒獨瀆犢讀」、「FO:fo?幅福蝠幅復復覆覆 vo?服」、「HO : ho?霍壑」、「KO : ko?各閣擱谷國擱角覺郭穀」、「K'O : k'o?哭酷」、「LO : lo?六陸勑戮洛絡絡落酪酪樂碌祿鹿麓漉漉」、「MO : mo?木沐莫寞漠膜牧目睦穆」、「NGO : ŋo?岳嶽愕鄂鰐雀鶴」、「O : o?屋幄握渥惡沃 fio?學斛鑊」、「PO : po?卜北剝匍曝瀑博搏膊駁」、「P'O : p'o?撲撲」、「SO : so?叔菽宿縮蓊朔夙束速粟肅」、「TO : to?督篤」、「T'O : t'o?托拓柝禿」、「TSO : tso?卓卓啄琢足捉竹竺筑築燭燭祝」、「TS'O : ts'o?促蹙蹙綽蹙觸觸畜蹙蹙蹙 tso?琢」、「VO : vo?伏袱復服服縛」、「ZO:zo?俗孰熟蜀屬濁濁濁淑族昨辱續續逐射鑿」。

《法華新字典》に OH ([o?]) で対応する音節は「poh[po?]: 曝趵 bo?瀑、p'oh[p'o?]: p'o?

撲扑撲撲撲、boh[bɔʔ]: boʔ匍暴鬚、moh[mɔʔ]: moʔ莫膜木沐邈、foh[fɔʔ]: foʔ幅福覆、toh[tɔʔ]: toʔ沔、t'oh[t'ɔʔ]: t'ɔʔ托託拓、doh[dɔʔ]: doʔ鐸澤、noh[nɔʔ]: noʔ諾喏、loh[lɔʔ]: loʔ洛落樂、tsoh[tsoʔ]: tsoʔ卓桌棹啄作捉呢、ts'oh[ts'ɔʔ]: ts'ɔʔ蹙盞觸齷促簇、soh[sɔʔ]: soʔ蓓縮朔擲槩索
 颯稜、zoh[zɔʔ]: zoʔ勺杓俗柚鴛濯濯酢柞、koh[kɔʔ]: koʔ覺覺角揜塙各閣咯、k'oh[k'ɔʔ]: k'ɔʔ殼壳、ngoh[ŋɔʔ]: ŋoʔ鶴雀瘡岳嶽鱷齧 oʔ颯、hoh[hɔʔ]: hɔʔ學學 hoʔ襪、h'oh[hɔʔ]: hoʔ壑霍、oh[ɔʔ]: ɔʔ惡齷嗟」となり、「ÔH ([oʔ]) 韻母の対応は pòh[pɔʔ]: poʔ北駁剝博ト、bòh[boʔ]: boʔ匍箔僕曝毫、tòh[toʔ]: toʔ督篤、t'òh[t'ɔʔ]: t'ɔʔ秃、dòh[doʔ]: doʔ毒獨讀燿、lòh[loʔ]: loʔ六陸、tsòh[tsoʔ]: tsoʔ燭囑足、ts'òh[ts'ɔʔ]: ts'ɔʔ畜獨蹴蹙、ts'òh[ts'ɔʔ]: 走之、sòh[sɔʔ]: soʔ宿叔束速棘、zòh[zɔʔ]: zoʔ逐濁錫續辱屬贖鑿族作、ŋioʔ緝、kòh[kɔʔ]: koʔ谷穀國囑、k'òh[k'ɔʔ]: k'ɔʔ酷哭、hòh[hɔʔ]: hɔʔ鵲葛菝、hoʔ涖 òh[ɔʔ]: ɔʔ沃屋喔」となる。

同様に [oʔ] に対応する韻母は ÈU であり、音節も字数も一個で: 「TSÈU: tsoʔ粥」となる。

O 韻には一部“同音字表”の他韻母字が混在し、「HO: həʔ喝」、「KO: kuəʔ骨」、「MO: məʔ沫物墨默」、「NGO: gəʔ个个箇」、「PO: pAʔ伯 bəʔ腴」、「P'O: p'Aʔ帕泊舶」などとして、主に K/H/M/NG の場合は [əʔ]、P/P' の場合は[Aʔ]となる。

4.2 複合韻母

『上海聲音字彙』のローマ字表記複合韻母は IE、IA、UA、UE、UO、ÛO、ÛE、ËU、YO など九個あるが、IE と ÈU は上述単韻母節に討論したため、IA、UA、UE、UO、ÛO、ÛE、YO の七個となる。

(1) IA、UA は [iAʔ]、[uAʔ] に対応する

『上海聲音字彙』の IA 韻母の同音字は以下となる。CHIA: tciAʔ甲脚、CH'IA: tɕ'iaʔ却雀、HSIA: ciAʔ削、LIA: liAʔ掠略、YA: fiaʔ俠峽 iaʔ約葯藥學治躍鑰、TSIA: tciAʔ爵、ZIA: ziAʔ嚼」となり、全部[iAʔ]に一致する。UA 韻母の場合は、「HUA: huAʔ豁、KUA: kuAʔ刮、K'UA: k'uəʔ闊、WA: fuAʔ剗滑猾 fuəʔ活獲獲 fioʔ或惑」で、基本的に [uAʔ]に対応する。

《法華新字典》に IAH ([iAʔ])、GNAH ([ŋiAʔ])、YAH ([fiAʔ]) など対応され、音節は「liah[liAʔ]: liAʔ掠畧、tsiah[tsiAʔ]: tciAʔ爵、tɕ'iaʔ雀、ts'iah[ts'iaʔ]: tɕ'iaʔ鵲、siah[siaʔ]: ciAʔ削、ziah[ziAʔ]: ziAʔ嚼、kiah[kiAʔ]: tciAʔ脚峽、k'iah[tɕ'iaʔ]: tɕ'iaʔ却卻雀恪、ghiah[dziAʔ]: dziʔ劇展噓蹶、gnah[ŋiAʔ]: ŋiAʔ虐、yah[fiAʔ]: fiAʔ藥鑰樂壘」などの用例があり、「IÈH[iɛʔ]/GHÈH[dziɛʔ]/GNÈH[ŋiɛʔ]/YÈH[fiɛʔ]の「kièh[tcɛʔ]: 圻挾筴挾愜 k'ieʔ[tɕ'ɛʔ]: 篋 ghèh[dziɛʔ]: gAʔ軋劫圪 gnèh[ŋiɛʔ]: ŋiAʔ捏 yèh[fiɛʔ]: fiAʔ狎」も関連する。UA の場合は WAH ([fuAʔ]) 韻母「wah[fuAʔ]: fuAʔ剗畫畫」、OÈH ([uəʔ]) 韻母「koèh[kuəʔ]: kuAʔ刮、hoèh[huəʔ]: huAʔ豁、「WÈH[fiuəʔ]韻母「wèh[fiuəʔ]: fuAʔ猾滑幹軌執捥剗、uAʔ挖」となる。

(2) UE、UO は主に [uəʔ] に対応する

『上海聲音字彙』に UE 韻母は「K'UE : k'uəʔ堀窟」の一音節で、UO は三音節で、KUO : koʔ廓 kuAʔ括、K'UO : k'uəʔ擴、WO : fuəʔ獲」である。両方とも UE 韻母と同じ、[uəʔ] に対応し、「koʔ廓 kuAʔ括」の混在もある。

《法華新字典》に OUOH[uəʔ]/WOH[fuəʔ]の「pouoh[puəʔ] : 扒 kouoh[kuəʔ] : koʔ郭 k'ouoh[k'uəʔ] : k'oʔ廓 k'uəʔ擴 woh[fuəʔ] : fiəʔ或斛 oʔ握 voʔ伏服復緘 fuəʔ獲螻」が対応する。

(3) ÜO、YO は [ioʔ]、ÜE は [yɪʔ] と対応

三韻母はともに現代漢語の「撮口呼」([y]) の発音に関連する。

ÜO 韻母の音節は以下の五個となり、「CHÜ (CHÜO) : teioʔ橘掬菊鞠覺珏、CH'Ü (CH'ÜO) : te'ioʔ屈曲」、HSÜ (HSÜO) : 鼻、JÜ (JÜO) : dzioʔ局軸、YÜO : fiəʔ欲慾浴育獄鬱 ioʔ郁」、該当する漢字はほとんど北京語で単韻母[y]で発音するものである。五個中四個は Ü の表記が記され、もともと単韻母の性格があることを提示した。Ü から ÜO に変化したのが [yʔ] の円唇性が消え、単母音から [ioʔ] の二母音化が進んだことと言え、入声韻尾の影響を受けた結果と考えられる。前述した単母音 I [iʔ] から IE [iɪʔ] に変化したことに類似性があるとも言える。

ÜE 韻母は「CHÜE : teyɪʔ厥厥厥決決決 dzɪyɪʔ崛」、CH'ÜE : te'yɪʔ缺闕、HSÜE : eyɪʔ血、NÜE : nyɪʔ月、YÜE : fiyɪʔ域役疫悅閱月穴粵越鉞 yɪʔ鬱」の五音節あり、何れも北京語の [ye] (月)韻母字となり、ローマ字表記も同じである。“同音字表”時代、上海語の [yeʔ] は [yɪʔ] に変化し、[y] の影響で、[e] (或いは [ə] か) が [ɪ] に母音開口度の狭化が発生した結果と推測される。

YO 韻母は「NYO : ŋioʔ玉肉褥 ŋioʔ溺」、「HIO (HIA) : eyɪʔ旭畜蓄」、「YO : fiəʔ學 iAʔ樂」の三音節で、「NYO」は ÜO と同様、[ioʔ] に対応する。HIO (HIA) の所収字も ÜO と同類型だが [yɪʔ] の発音は ÜE に合流し、[yʔ] から [yɪʔ] に変化し、I [iʔ] から IE [iɪʔ] に音変化したと同類型と言え。「YO : fiəʔ學 iAʔ樂」音節の「fiəʔ學」は白読音である。「iAʔ樂」も白読音で、『上海聲音字彙』の IA 韻母に「CH'IA : te'iaʔ却雀、HSIA : eiAʔ削、LIA : liAʔ掠略、YA : iaʔ約葯藥學躍鑰、TSIA : teiaʔ爵、ZIA : ziaʔ嚼」も同じである。

《法華新字典》に [ioʔ] [yɪʔ] に対応する音節は「IOH ([iəʔ])」があり、「GNOH[ŋioʔ]、𪔐 hioh[eiəʔ] : eyɪʔ旭蓄洫譴」、または「IÖH[iəʔ]/GNÖH[ŋioʔ]/YÖH[fiəʔ]の「kiö[h][teioʔ] : teioʔ鞠菊 k'iö[h][te'ioʔ] : te'ioʔ曲麴 ghiö[h][dzioʔ] : dzioʔ軸軸 ignö[h][ŋioʔ] : ŋioʔ肉月玉擗擗惡 fiöʔ獄 yö[h][fiəʔ] : fiəʔ育欲盞」である。IEUH[iəʔ]/GNEUH[ŋiəʔ]/YEUH[fiəʔ]も「kieuh[teioʔ] : teyɪʔ橘決厥厥決 te'yɪʔ屈 k'ieuh[te'ioʔ] : te'yɪʔ缺 ghieuh[dzioʔ] : dzɪyɪʔ 短掘倔 gneuh[ŋiəʔ] : nyɪʔ月 fiyɪʔ鉞 hieuh[eiəʔ] : eyɪʔ血倏 yeuh[fiəʔ] : fiyɪʔ聿悅閱穴坎 yɪʔ鬱」などある。

以上の検討分析を総括し、ローマ字表記との対照でまとめると、『上海聲音字彙』に A[Aʔ]、Ê/E/ U[əʔ]、I/IE[iʔ]、O/ËU[oʔ]、IA[iAʔ]、UA[uAʔ]、UE/ UO[uaʔ]、YO[ioʔ]、ÛO/ÛE[yʔ] はそれぞれ“同音字表”の韻母に対応する。韻母の状況は声母より複雑で、特に『上海聲音字彙』のローマ字表記は細かく分類され、“同音字表”の韻母と一対複数の場合において、ローマ字表記と音声の関連にたいして更に検討する必要がある。

5. まとめ

本稿は『上海聲音字彙』における入声字のローマ字表記の音声整理に通し、編纂者稲葉鼎一郎のローマ字表記の特徴を究明した。

近代に出版された日本人向けの上海語学習書¹⁰には音声の仮名表記が多い。大川與朔の『活用上海語』(1924)と稲葉鼎一郎『上海聲音字彙』(1935)と二冊だけがローマ字表記であり、仮名より豊富な表現可能性があるため、上海語がもつ独特な音声存在、特に入声字音の研究に高い対応性が期待される。

本稿の研究で、『上海聲音字彙』のローマ字表記は全体的には対応性が良いとわかった。声母について、清音、濁音、有気音と無気音の対応は97%以上が正しく、特に重要な点が中古時代“見系字”と“精組字”の細音類対応にある。“見系字”細音類(硬口蓋前音[tɕ]・[tɕʰ]・[ɕ]・[dʒ])の表記はローマ字 CH、CHʰ、H、J(後部歯茎音[tʃ]、[tʃʰ]、[x]、[dʒ])を利用し、“精組字”(歯茎音[ts]・[tsʰ]・[s]・[z])はローマ字 TS、TSʰ、HS、Zを利用し、音声関連もある上、はっきり区別される。

許寶華(1997:引論 18-19)によると、“老派音系¹¹”には16個の入声韻母([aʔ]、[iaʔ]、[uaʔ]、[ɑʔ]、[iɑʔ]、[uɑʔ]、[əʔ]、[iəʔ]、[uəʔ]、[ieʔ]、[ɔʔ]、[uoʔ]、[oʔ]、[yoʔ]、[øʔ]、[yøʔ])あるが、“中派音系”には9個に合併し、音声変化は非常に大きい。『上海聲音字彙』の編纂者稲葉氏が使った16個の韻母ローマ字表記(A、Ê、E、I、IE、IA、O、OU、U、UA、UE、UO、ÛO、ÛE、ËU、YO)は“同音字表”の「中派音系」に較べ、一致しない表記もあるが、これは『上海聲音字彙』と“同音字表”「中派音系」の間に40余年間の時間差があるためで、上海語音声が変化したと関係し、稲葉氏のローマ字表記が必ず間違ったとは判断できない。《法華新字典》に入声韻母が ah[ɑʔ]、iah[iɑʔ]、eh[ɛʔ]、ieh[iɛʔ]、éh[eʔ]、iéh[iéʔ]、oéh[ueʔ]、èh[æʔ]、ièh[iæʔ]、oèh[uæʔ]、oh[ɔʔ]、ioh[iɔʔ]、ouoh[uoʔ]、ôh[oʔ]、iôh[ioʔ]、euh[øʔ]、ieuh[iøʔ]、ih[iʔ]の18個ある。これを補充として参考すると、『上海聲音字彙』と“同音字表”(1988)の音声差が小さくなる。

¹⁰ 近代に出版された日本人向けの上海語学習書は御幡雅文『滬語便商』(1892)、『滬語津梁』(1900)や杉江房造『上海語独案内』(1904)や林通世『羸滬雙舌』(1914)や大川與朔『活用上海語』(1924)、王廷珩『增補實用上海語』(1925)、『實用上海語字引及譯』(1927)など十数冊がある。

¹¹ 許寶華(1997:引論 4)の説明によって、「老派方言」は1920年以前に出生した上海市民が使用する方言である。

『上海聲音字彙』は20世紀30年代で初版され、ちょうど“老派音系”から“中派音系”に大いに変化する時代に重なる。当時の上海語における入声韻は具体的にどのような状況であるのか、これからもさらに探求していきたい。

『上海聲音字彙』の編纂者稲葉鼎一郎に関する詳しい資料はまだ整理していないが、この著作を通して、稲葉氏は音声学の学識が高いことが実感できた。今回の研究は不十分であり、20世紀30年代の上海語音声の全容解明を今後の課題として引き続き取り組む。

本稿の研究はまず『上海聲音字彙』と“同音字表”の入声韻に関わる声母問題と韻母問題を取り扱い、比較の手法を中心に対応関係を整理した。今後は『上海聲音字彙』のローマ字表記による音声の特徴を研究視野に据え、異なる表記と異なる音声の関連を解明したい。

最後は本稿の研究で整理した『上海聲音字彙』、“同音字表”、《法華新字典》三書の入声韻と関連した声母および韻母の対照表であり、初歩の結論とする。

表1 三書入声韻の表記比較表

	声母			入声韻母		
	聲音字彙	同音字表	法華新字典	聲音字彙	同音字表	法華新字典
1	P	[p]	p[p]	A	[Aʔ]	ah[aʔ] [ʌʔ] èh[æʔ]
2	P'	[p']	p'[p']	Ê/ E/ U	[əʔ]	eh [əʔ] éh[eʔ]
3	B	[b]	b[b]	I/ IE	[iʔ]	ih[iʔ] iéh[ieʔ] ieh[iʌʔ]
4	M	[m]	m[m]	O/ ÊU	[oʔ]	ôh[oʔ] euh[øʔ] oh[ɔʔ]
5	F	[f]	f[f]	IA	[iAʔ]	iah[iAʔ] ièh[iæʔ]
6	V	[v]	v[v]	UA	[uAʔ]	oèh[uæʔ]
7	T	[t]	t[t]	UE/ UO	[uəʔ]	oéh[ueʔ] ouoh[uəʔ]
8	T'	[t']	t'[t']	YO	[ioʔ]	iôh[ioʔ] ioh[iɔʔ] ieuh[iøʔ]
9	D	[d]	d[d]	ÛO/ ÜE	[yʔ]	ieuh[iøʔ]
10	N	[n]	n[n]			
11	L	[l]	l[l]			
12	TS[ts]	[ts] [tɕ]	ts[ts]			
13	TS'[ts']	[ts'] [tɕ']	ts'[ts']			
14	S/HS(I)[s]	[s] [ɕ]	s[s]			

15	Z[z]	[z] [z]	z[z]			
16	CH	[tɕ]	ki[tɕi]			
17	CH'	[tɕ']	k'i[tɕ'i]			
18	J	[dʒ]	gh[dʒ]			
19	N(l)	[ŋ]	gn[ŋ]			
20	H(l)	[ɕ]	hi[ɕi]			
21	K	[k]	k[k]			
22	K'	[k']	k'[k']			
23	NG	[g]	g[g]			
24	NG	[ŋ]	ng[ŋ]			
25	H	[h]	h'[h] [ɦ]			
26	H/Y/ゼロ	[ɦ] [ゼロ]	y[ɦi]			
27	W	[ɦ]	w[ɦu]			

主要參考文獻

稻葉鼎一郎 (1935), 『上海聲音字彙』, (上海) 日本堂。

Albert Bourgeois, S.J. [中國名: 蒲君南、布尔其瓦] (1950), 《法華新字典》, 土山灣印刷所。

中國社會科學院語言研究所 (1981), 《方言調查字表》, 商務印書館。

許寶華、湯珍珠 (1988), 《上海市區方言志》, 上海教育出版社。

許寶華、陶寰 (1997), 《上海方言詞典》, 江蘇教育出版社。

石汝傑、宮田一郎 (2005), 《明清吳語詞典》, 上海辭書出版社。

錢乃榮 (2014), 《西方傳教士上海方言著作研究》, 上海大學出版社。

錢乃榮 (2018), 《上海話大詞典 (第二版)》, 上海辭書出版社。

付錄 1：『上海聲音字彙』入聲韻聲母韻母配合表

韻母 聲母	A	Ê	E	I	IE	IA	O	OU
—	A 鴨	Ê 曷	—	—	—	—	O 屋	—
B	BA 白	—	—	—	BIE 鼻	—	BO 蔔	—
CH	—	—	—	—	CHIE 吉 結	CHIA 腳	—	—
CH'	—	—	—	—	CH'IE 泣怯	CH'IA 雀	—	—
D	DA 踏	DÊ 特	—	—	DIE 笛碟	—	DO 毒	—
F	FA 法	FÊ 佛	—	—	—	—	FO 服	—
H	HA 嚇	—	HE 黑	—	HIE 吸歇	HIA 畜	HO 霍	—
HS	—	—	—	—	HSIE 息 洩	HSIA 削	—	—
J	—	—	—	—	JIE 極	—	—	—
K	KA 革	—	KE 葛	—	—	—	KO 角	—
K'	K'A 克	—	—	—	—	—	K'O 哭	—
L	LA 腊	LÊ 勒	—	—	LIE 力列	LIA 略	LO 六	—
M	MA 末	—	—	—	MIE 蜜滅	—	MO 木	—
N	NA 納	—	—	—	NIE 日	NIA 熱	—	—
NG	NGA 額	—	NGE 厄	—	—	—	NGO 鱈	—
P	PA 八	PÊ 鉢	—	—	PIE 必鼈	—	PO 北	—
P'	P'A 拍	—	—	P'I 匹	P'IE 瞥	—	P'O 撲	—
S	SA 殺	SÊ 色	—	—	—	—	SO 叔	—
T	TA 德	—	—	—	TIE 滴跌	—	TO 篤	—
T'	T'A 脫	—	—	—	T'IE 踢鐵	—	T'O 拓	T'OU 都
TS	TSA 則	TSÊ 哲	TSE 只 脊	—	TSIE 接	TSIA 爵	TSO 桌	—
TS'	TS'A 赤	TS'Ê 出	—	—	TS'IE 七切	—	TS'O 齷	—
V	VA 乏	—	—	—	—	—	VO 袂	—

W	WA 活	—	—	—	—	—	WO 穫	—
Y	YA 藥	—	—	—	YE 一葉	—	YO 樂	—
Z	ZA 石	ZĒ 入	ZE 日	—	ZIE 睫	ZIA 嚼	ZO 熟	—

韻母 聲母	U	UA	UE	UO	ÜO	ÜE	ËU	YO
—	—	—	—	—	—	—	—	—
B	—	—	—	—	—	—	—	—
CH	—	—	—	—	CHÜO 橘	CHÜE 厥	—	—
CH'	—	—	—	—	CH'ÜO 曲	CH'ÜE 缺	—	—
D	DU 度	—	—	—	—	—	—	—
F	FU 弗	—	—	—	—	—	—	—
H	—	HUA 忽 豁	—	—	—	—	—	—
HS	—	—	—	—	HSÜO 曷	HSÜE 血	—	—
J	—	—	—	—	JÜO 局	—	—	—
K	KU 個	KUA 刮	—	KUO 括	—	—	—	—
K'	—	K'UA 闊	K'UE 窟	K'UO 掖	—	—	—	—
L	—	—	—	—	—	—	—	—
M	—	—	—	—	—	—	—	—
N	—	—	—	—	—	NÜE 月	—	NYO 肉
NG	—	—	—	—	—	—	—	—
P	PU 不	—	—	—	—	—	—	—
P'	—	—	—	—	—	—	—	—
S	—	—	—	—	—	—	—	—
T	—	—	—	—	—	—	—	—
T'	—	—	—	—	—	—	—	—
TS	—	—	—	—	—	—	TSËU 粥	—
TS'	—	—	—	—	—	—	—	—
V	—	—	—	—	—	—	—	—
W	—	—	—	—	—	—	—	—
Y	—	—	—	—	YÜO 慾	YÜE 月	—	—
Z	—	—	—	—	—	—	—	—

付録2：『上海聲音字彙』入声韻ローマ字表記字表（同音字表国際音記併記）

註記：

1. 本表はアルファベット順で音節を配列し、全部で107項がある。
2. :の前は『上海聲音字彙』ローマ字表記の音節で、()には発音変化後の音節表記である。
3. :の後ろは《上海市區方言志》(1988)第三章の“同音字表”(以下“同音字表”と略称する)を参照する国際音記である。複数の国際音記がある場合、順番で配列する。
4. “同音字表”に未収録した字(異体字は含まれない)は下線で表す。

1. A : Aʔ阿押鴨壓 hAʔ匣盒狹 həʔ合 盍
2. BA : bAʔ白帛拔跋 bəʔ勃渤 𪛗
3. BIE : biʔ鼻枇捩
4. BO : boʔ僕薄蔔箔 p'oʔ璞 bəʔ𪛗 暴
5. CHI (CHIE) : tɕiʔ吉結汲級激急擊戟棘給髻 dzɿʔ及笈 詰詰岌岌亟
CHIE : tɕiʔ子劫拮結潔揭莢頰 tɕ'yiʔ却 dzɿʔ桀 袷緬切黠絜揭筈篋缺陝
6. CH'I (CH'IE) : tɕ'iʔ乞吃訖迄喫泣 tɕ'y 祛 祛
CH'IE : tɕ'iʔ祛 挈歎
7. CHIA : tɕiAʔ甲腳 岬戛挾
8. CH'IA : tɕ'iAʔ却雀 卻恪確
9. CHŪ (CHŪO) : tɕioʔ橘掬菊踰覺垆 鈺譎鞠
10. CH'Ū (CH'ŪO) : tɕ'ioʔ屈曲 閱麴
11. CHŪE : tɕyʔ厥蕨厥決決訣訣 dzɿʔ崛 k'uəʔ堀 馱獮罅鏹
12. CH'ŪE : tɕ'yiʔ缺闕
13. DA : dAʔ踏達 tAʔ沓
14. DÊ : dəʔ奪特突
15. DI (DIE) : diʔ笛迪滌狄狄敵 覲迪
DIE : dəʔ凸 diʔ牒碟蝶喋疊迭 鯨喋滌
16. DO : doʔ毒獨瀆憤牘讀 度蘓觸
17. DU : du 度
18. Ê : 曷褐圍
19. FA : fAʔ法珫發髮 fəʔ佛 𪛗
20. FÊ : vəʔ勿 佛拂
21. FO : foʔ幅福蝠幅復複馥覆 voʔ服 簞蝮馥
22. FU : vəʔ弗 鬚拂
23. HA : hAʔ盒 hAʔ嚇瞎 həʔ合 həʔ赫 hE 駭
24. HE : həʔ黑
25. HI (HIE) : ciʔ吸歛隙 闕翕

- HIE : ɛiʔ歇蝎蠍脇 soʔ倏
26. HIO (HIA) : ɛyʔ旭畜蓄
27. HO : hoʔ霍壑 həʔ喝 郝涸壑
28. HSI (HSIE) : ɛiʔ息媳熄悉蟋昔惜析浙蜥膝戍錫 ɛyʔ恤 ziiʔ習 卹卹恤哲扱
HSIE : ɛiʔ泄屑戍薛藜雪 ɛiA 罅 燮繼洩
29. HSIA : ɛiAʔ削
30. HSÜ (HSÜO) : 昂
31. HSÜE : ɛyʔ血
32. HU (HUA) : hoʔ忽 笏
HUA : huAʔ豁 hAʔ轄
33. I (YE) : iiʔ一乙抑揖益溢縊邑 hiiʔ弋佚軼亦繹譯曳易弈奕液翼逸 鷓億份沃罽憚拽檄翌
YE : iiʔ協謁 hiiʔ叶掖掖葉頁 hiiAʔ俠挾 hAʔ狎 陟挈絮
34. JIE : dziiʔ傑劇極竭
35. JÜ (JÜO) : dzioʔ局軸 躅軸
36. KA : kAʔ格夾 kəʔ合鴿割膈革 哈恰甲岬格酪戛嘎挾缺插榻隔
37. K'A : k'Aʔ客恰 k'əʔ克刻咳渴 喀嘎剋剋
38. KE : kəʔ葛 屹
39. KO : koʔ各閣閤谷國擗角覺郭穀 kuəʔ骨 骷鄱窞鵠魯榻隔閤殼殼鞞鞞
40. K'O : k'oʔ哭酷 恪殼
41. KU : gəʔ個箇
42. KUA : kuAʔ刮 筈蛞蝓鵠汨槽緞盤
43. K'UA : k'uəʔ闊
44. K'UE : k'uəʔ堀窟
45. KUO : koʔ廓 kuAʔ括 擲
46. K'UO : k'uəʔ擴
47. LA : lAʔ刺腊臘 ləʔ勒肋擘 躡鐵拉拉攏蠟
48. LÊ : ləʔ勒 防泐
49. LI (LIE) : liiʔ力律栗慄歷瀝瀝歷曆立笠粒礫 礫葎瘰
LIE : liiʔ列洌烈裂劣 獵躡蠟
50. LIA : liAʔ掠略
51. LO : loʔ六陸勑戮洛絡落酪駱樂碌祿綠鹿麓漉輻 咯貉樂萊錄
52. MA : mAʔ秣襪麥陌脈 məʔ末抹萊歿沒 moʔ目 襪慕貊鞅
53. MI (MIE) : miʔ密蜜 謐覓
MIE : miʔ滅蔑蔑 噉
54. MO : moʔ木沐莫寞漠膜牧目苜睦穆 məʔ沫物墨默 mo 墓 秣慕邈陌
55. NA : nAʔ納納 訥

56. NGA : ŋAʔ額 gAʔ軋 fiʔ劾核 ŋoʔ確 (轄) 覈
57. NGE : ŋəʔ兀厄扼輓 gəʔ緝 厄扼
58. NGO : ŋoʔ岳嶽鄂愕鄂鵲鶴 gəʔ个个箇 鵲
59. NI (NIE) : ŋiʔ日匿逆 fiʔ驛 擗
60. NIE (NIA) : ŋiAʔ捏虐 ŋiʔ熱藥孽聶聶錘業齧 瘡誑涅諛藥
61. NÜE : ŋyʔ月
62. NYO : ŋioʔ玉肉褥 ŋioʔ溺 蕩
63. O : oʔ屋幄握渥醜惡沃 fiʔ學斛鏹 tɕioʔ缺 ɔʔ拗 貉遏
64. PA : pAʔ八伯柏百佰栢 pʼAʔ粕迫 bAʔ白拔跋 pəʔ撥鉢 bəʔ浞 諄扒魃
65. PʼA : pʼAʔ拍珀魄 pʼəʔ潑 鉅
66. PÊ : pəʔ鉢
67. PI (PIE) : piʔ必泌畢畢壁壁 壁壁壁
PIE : piʔ癩鼈 biʔ別
68. PʼI : pʼiʔ辟僻劈嬖癖關霹匹疋
69. PʼIE : pʼiʔ撇瞥 瞥
70. PO : poʔ卜北剝匍曝瀑博搏膊駁 pAʔ伯 bəʔ脍 脍朴謬膊駁
71. PʼO : pʼoʔ撲撲 pʼAʔ帕泊舶pʼoʔ怕
72. PU : pəʔ不
73. SA : sAʔ柵殺煞薩霎 səʔ說 soʔ燦鑠 səʔ閃 鑠
74. SÊ : səʔ刷室塞失式拭率蟀滋濕虱色齋穢識設釋適飾 sAʔ蠟 zəʔ十拾 摔甩軼塞瀏爽攝跼
瑟
75. SO : soʔ叔菽宿縮着朔夙束速粟肅 肅棘椒
76. TA : tAʔ搭搭答 təʔ得德掇 踏
77. TʼA : tʼAʔ塔塌榻榻蹋 tʼəʔ忒脫 tʼAʔ汰汰 蛻惡撻躄鞞闞替担軛
78. TI (TIE) : tiʔ的嫡滴鎊
TIE : tiʔ跌
79. TʼI (TʼIE) : tʼiʔ剔踢 躄
TʼIE : tʼiʔ帖貼鐵
80. TO : toʔ督篤 掇窠
81. TʼO : tʼoʔ托拓柝禿 IE 聶 託
82. TʼOU : tuʔ都
83. TSA : tsAʔ勺灼酌啞扎紮扎隻着著窄 tsəʔ則側仄只責噴拙折浙摺質 zoʔ杓 灼屨質割割謫
蜥
84. TSʼA : tsʼAʔ册尺拆插察擦策赤 tsʼəʔ側測撤 (徹) 澈輒 菘扱啜輒
85. TSE (TSÊ) : tsəʔ側卒折折摘 tsʼəʔ掣 tsʼŋ 廁 tsən 怎 綴咄
86. TSʼE (TSʼÊ) : tsʼəʔ出撮黜 撮徹啜輒輒

87. TSËU : tsoʔ粥
88. TSI (TSE) : tsəʔ只汁室姪織職褶執 tsAʔ炙 teiʔ即唧唧漬積績脊脊鵲稷迹 跽 輕 鯽 磧 蹟
躋 訛
89. TSIE : teiʔ接節 櫛 癩
90. TS'I (TS'IE) : te'iiʔ七緝輯漆戚 ts'əʔ勅叱斥飭 ts'Aʔ尺赤 齣 楫 噉 茸
TS'IE : te'irʔ切窃竊 羞
91. TSIA : tsiAʔ爵
92. TS0 : tsoʔ卓桌啄啄足捉竹竺筑築囑燭祝 sɿ 豕 炸 屨 涿 蠲
93. TS'0 : ts'oʔ促齷簇綽戳搗觸畜蹙蹙廬 tsoʔ琢 嗾 鏃 焯
94. VA : vAʔ乏伐筏闕罰 vəʔ勿
95. VO : voʔ伏袱復服箝縛
96. WA : fiuAʔ割滑猾 fiuəʔ活獲蠖 fiəʔ或惑 摑
97. W0 : fiuəʔ穫
98. YA : fiAʔ俠峽 iAʔ約葯藥學洽躍踰 fiAʔ狎 啣 會
99. Y0 : fiəʔ學 iAʔ樂
100. YÜ0 : fiəʔ欲慾浴育獄鬻 iəʔ郁
101. YÜE : fiyɿʔ域役疫悅閱月穴粵越鉞 yiʔ鬱 鵠 域
102. ZA : zAʔ雜宅弱石芍若闌 zəʔ直擇澤 tso 柘 襍 碩 噉
103. ZË : zəʔ入折擇擲涉術述舌蝥賊
104. ZI (ZE) : zəʔ十什拾直值殖姪秩寔實日躑食蝕 zAʔ石 ziiʔ夕疾寂席蓆集籍襲 zɿ 曙 汐 陟 植
嫉
105. ZIA : ziAʔ嚼
106. ZIE : ziiʔ捷睫絕籍截
107. Z0 : zoʔ俗孰熟蜀屬濁躅錫淑族昨辱纈贖逐射鑿 ŋioʔ肉 zo 乍 詐 鮐 塾 擻 濯 濯 酢 緝 蓐 褥